

1 年	単 元 名	いろいろなふね
(教科) 国語		

1. 単元の目標

書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、ほかの乗り物についても重要な語や文について選び出し、調べて発表する。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館の本の中から、必要な資料がどこにあるのか探して見つける経験をすることで、資料を活用する能力の基礎を培う。

3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
<p>①本時の学習活動を知る。</p> <p>自分の好きな乗り物について調べよう</p> <p>②2つの班に分かれて学習を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A班: 図書館から、乗り物の本のある場所を探し、借りる手続きをしてから教室に帰る。その後、ワークシートに調べる乗り物とその理由を書く。 ・B班: 、ワークシートに調べる乗り物とその理由を書く。その後、図書館から、乗り物の本のある場所を探し、借りる手続きをしてから教室に帰る。 <p>③本を読む。</p>	<p>○学びのサポーターによる全体指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類表の見方 ・分類ラベルの色 ・本の取り扱い方 など <p>○見当をつけながら、自分が必要な本を探し出す。</p> <p>○後でカードに転記できるように、付箋を貼りながら読む。</p>

4. 考察（成果や課題等）

- 乗り物の本の場所を学習することで、様々な本が学校図書館や市立図書館にはあること、そしてどの位置にどんな本があるかが意識化でき、様々な本へ興味をもち触れるきっかけになった。
- 付箋を貼ることで後日のカードへの転記が楽になった。
- 事前の学びのサポーターとの打ち合わせを十分する必要がある。（本の準備、分類の伝え方など）